

河原子小学校及び河原子中学校の保護者から寄せられたご質問等

No.	ご質問・ご意見の概要	回答
1	<p>＜河原子学区特有の文化・活動の継承＞</p> <p>河原子は規模が小さな学区とはいえ、河中エイサーや地元出身の三味線奏者による講習、河原子小では、海岸清掃や砂の造形など、海がある学区ならではの催しや環境に配慮した教育活動が失われてしまうことを懸念している。</p> <p>再編後も河原子での文化を残すような授業や課外活動として継承していただけないか。</p>	<p>＜河原子学区特有の文化・活動の継承＞</p> <p>河原子中学校のエイサーなど、河原子学区ならではの教育活動が失われるのではないかというご懸念についてですが、学校行事などを通して受け継がれている文化や活動は、子どもたちが郷土への愛着と誇りを育む上で、かけがえのない価値を持つものと認識しております。</p> <p>統合後もこれらの文化や活動を継承していくことは重要であると考えております、統合準備委員会において、これらの特色ある活動の継承方法について検討してまいります。なお、統合前の久慈中学校において活動していた久慈中ソーランは、統合後もソーラン演舞として引き続き活動を継承しています。</p>
2	<p>＜統合後の地域コミュニティの維持＞</p> <p>少子化の進行や子どもたちが他学区に通学する影響で、地域行事への子どもの参加が減り、世代間交流が希薄になるのではないかというご懸念についてですが、地域の皆様が大切に育んでこられた世代間交流の輪が、今後も維持・発展していくことは、地域の活性化にとって不可欠であると捉えています。</p> <p>地域行事に小中学生の協力があることで、子どもたちとのふれあいの場が設けられ活気が出ているのではないか。</p>	<p>＜統合後の地域コミュニティの維持＞</p> <p>地域行事に子どもの参加が減り、世代間交流が希薄になるのではないかというご懸念についてですが、地域の皆様が大切に育んでこられた世代間交流の輪が、今後も維持・発展していくことは、地域の活性化にとって不可欠であると捉えています。</p> <p>統合後、子どもたちが引き続き地域の行事などを通じて多世代と交流できるような機会を確保できるよう、統合準備委員会等において検討してまいります。</p>

3	<p><大沼地区と河原子地区の統合の違い></p> <p>学校再編は仕方がないと思うが、BRT沿線周辺での住宅開発により人口が増加した大沼学区は統合対象から外れ、河原子地区が統合対象となることに不公平を感じる。</p> <p>小さなコミュニティだからこそ力を出し合って大切にしている。少数の意見が軽視されているのではないか。</p>	<p><大沼地区と河原子地区の統合の違い></p> <p>学校再編計画は令和3年の策定当初から、児童生徒数の推移などを踏まえて3年程度を目安に再編の進捗を検証し、計画の見直しを行うこととしているため、本年5月に学校再編計画改定検討委員会を設置し協議を進めているところです。</p> <p>検討委員会での協議を踏まえ、中学校の適正な規模を維持するため、河原子中学校は比較的距離の近い大久保中学校に統合する案としました。学校再編計画は、長期的な視点に立つものであると同時に、児童生徒数の推移などを踏まえ見直すことが当初から定められておりますので、ご理解をいただけけるよう今後も皆様からご意見をいただきながら丁寧に進めてまいります。</p> <p>河原子学区の良さを継承し、子どもたちが引き続き活動に参加できるよう、コミュニティとも連携しながら統合準備委員会等において検討してまいります。</p>
4	<p><統合後の通学の安全対策></p> <p>海の目の前に住む子どもたちにとって、大久保中や泉丘中に通学することは大変だと思っており、通学距離や交通事情、送迎による混雑などを懸念している。大久保中に通う子どもたちの中には、雨天時に保護者による送迎が行われているとも聞いている。現在、河原子から大久保中や泉丘中への通学に関して困っていること、それに対する対策などを聞き取り、進学予定の各世帯に伝える</p>	<p><統合後の通学の安全対策></p> <p>河原子学区から大久保中学校や泉丘中学校への通学について学校に確認したところ、現時点において生徒や保護者から寄せられている課題となることは特ないことでしたが、統合後に生徒が安心して通学できるよう統合準備委員会に設ける通学部会において検討を進めてまいります。また、コミュニティ等との連携を図り、通学路の見守り活動を協議してまいります。</p>

	<p>べきだと思う。河原子から大久保中に通学実績があるという説明ではなく、安全性が確保された具体的な通学プランを確立するのがよいのではないか。</p>	<p>なお、本市では、関係機関及び各学校等と連携して通学路の安全対策に取り組んでおり、取り組みを継続的かつ効率的に進めるために、推進体制として「日立市通学路安全推進会議」（※）を設置して、児童生徒が安全に通学できるよう通学路の点検や安全対策を推進しています。</p> <p>※ 国土交通省常陸河川国道事務所、茨城県高萩工事事務所、日立警察署、市コミュニティ協働課、市道路建設課、市道路管理課、市教育委員会学務課、各学校（PTAや交通安全の会等）</p>
5	<p>＜円滑な統合に向けた生徒の交流と学校づくり＞</p> <p>大久保中や泉丘中に河原子の生徒を受け入れる環境を整え、統合後、生徒同士がお互いを理解し協力し合える学校づくりをお願いしたい。</p>	<p>＜円滑な統合に向けた生徒の交流と学校づくり＞</p> <p>新しい環境での人間関係は、生徒や保護者の皆様にとって大きな関心事あります。大久保中学校や泉丘中学校と連携して、温かく迎え入れる環境づくりを進めてまいります。具体的には、統合前から両校の生徒が互いを知り、スムーズに学校生活をスタートできるよう、合同での学校行事や部活動、生徒会による交流などを統合準備委員会において検討してまいります。</p>
6	<p>＜部活動の地域展開＞</p> <p>部活動は今後、地域展開が進み、学校内での活動が減少していく傾向にある。部活動のために学区外の中学校に進学する生徒も実際に存在している。部活動の規模が縮小していく中で、部活動の選択肢拡大を再編のメリットとして挙げることへの疑問を感じている。</p>	<p>＜部活動の地域展開＞</p> <p>部活動の地域展開については、現在、土日の展開について進めており、令和8年度から学校部活動は平日のみの活動となります。当面、平日は学校で部活動を行う状況を踏まえますと、生徒が部活動を選択できるよう学校再編を進めていくことも必要であると考えております。</p>

		<p>なお、部活動の充実は学校再編のメリットの一つではありますが、その理由のみで統合を進めるものではございません。学校再編計画は、長期的な視点に立って進めて行くものであると同時に、児童生徒数の推移などを踏まえ見直すことが当初から定められております。部活動の地域展開の動向も注視しつつ、学校生活全般において児童生徒が充実した教育を受けられる環境を目指してまいります。</p>
7	<p>＜大久保中学校と多賀中学校の統合予定＞</p> <p>後期計画では大久保中学校と多賀中学校の統合予定があるが、河原子学区から多賀学区はさらに遠くなり、通学負担が増加する。将来的な統合も見据えた総合的な計画が必要ではないか。</p>	<p>＜大久保中学校と多賀中学校の統合予定＞</p> <p>大久保中学校と多賀中学校との統合については、後期計画で検討していくこととなっています。今回、前期計画の見直しを行っている中で、河原子中学校と大久保中学校が統合することになった場合は、その点を踏まえ、大久保中学校と多賀中学校との統合について、後期計画で改めて見直す必要があると考えています。</p> <p>学校再編計画は、当初決定した内容を必ず進めていくというものではなく、定期的に見直しを行いながら、子どもたちの学習環境や主要教科に複数の教員が配置できるような学校規模の観点から検討を進めてまいります。</p>
8	<p>＜統合の時期と在学児童への配慮＞</p> <p>統合を実施する場合、特定の入学年度から適用するよう明確にし、現在在学中の児童には統合の影響が及ぼないようにしてほしい。</p>	<p>＜統合の時期と在学児童への配慮＞</p> <p>統合の時期は、準備期間を十分に確保した上で統合準備委員会において協議し、保護者や地域の皆様のご意見を伺いながら決定します。今年度内に計画が改定されると仮定した場合に、これまでの</p>

		中学校の統合実績（統合準備委員会の設置から開校まで3年程度）を踏まえますと、統合校の開校は、令和11年度以降になると考えていますが、統合の時期については、皆様のご意見等を伺いながら統合準備委員会において検討してまいります。
9	<p>＜泉丘中学校への通学＞</p> <p>泉丘中学校への通学を柔軟に対応するとのことだが、BRT利用時の定期代などの経済的負担についてどのように考えているのか。また、通学時間の延長による安全面の不安（特に酷暑時や冬季の日没後）や、共働き家庭が多い中で送迎の負担が増えることについて懸念している。</p>	<p>＜泉丘中学校への通学＞</p> <p>現時点においては、通学の安全性や利便性を理由として大久保中学校ではなく、泉丘中学校への学区外通学を認められる柔軟な運用についても考えております。今後、計画が改定され、統合準備委員会の通学部会が設置された後に、通学に公共交通機関の利用が必要になった場合など、必要に応じた経済的負担の軽減策についても検討することになります。</p>
10	<p>＜再編計画見直しの経緯と河原子小学校の学級規模＞</p> <p>河原子小学校が一学年1クラスの小規模状態が続くことになる。この状況は再編計画の基本的な考え方（適正規模確保）に合致しないのではないか。</p>	<p>＜再編計画見直しの経緯と河原子小学校の学級規模＞</p> <p>河原子小学校は小規模校ではありますが、子どもたち一人ひとりの成長を学校全体で見守るような環境にあるとも言えます。</p> <p>検討方針（案）のとおり計画が改定された場合は、河原子小は当面、小規模校の状況が続くことになりますが、引き続き、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、学校や地域と連携を図りながら、河原子小学校のあるべき姿を検討してまいります。</p>

11	<p>＜河原子小学校の児童への小中連携や友人関係の影響＞</p> <p>改定案だと、地理的理由やBRT沿線の理由から、河原子小学校の卒業生が大久保中学校と泉丘中学校に分かれて進学する可能性がある。同じ学区内で進学先がバラバラになることで、小中学校の連携や友人関係に影響を及ぼすのではないか。当初案（大沼小学校の分割）であれば、移行期間に在学中の児童のみ影響を受けるが、影響は限定的である。</p>	<p>＜河原子小学校の児童への小中連携や友人関係の影響＞</p> <p>河原子学区から中学校への進学に関して、小中連携教育の観点から河原子小学校の学区は分割せず、全員が大久保中学校に進学できるよう計画の見直しの案をご提示したところです。ただし、大久保中学校ではなく、泉丘中学校への通学を希望する方がいた場合は、柔軟に対応できるよう検討していきたいと考えています。</p>
12	<p>＜計画の再考＞</p> <p>大沼学区の保護者から見直しを求める声が多いとのことだが、河原子小学校の保護者には意見を求められる機会がなく、突然新案が提示された。</p>	<p>＜計画の再考＞</p> <p>学校再編計画は、児童生徒数の推移などを踏まえ見直すことが当初から定められておりますので、学校再編計画改定検討委員会を設置し検討を進めているところです。</p> <p>今回の計画を改定する検討方針（案）につきましては、河原子学区住民説明会やマチコミメールを活用し、河原子小学校及び河原子中学校の保護者の皆様からご意見等を伺いながら検討を進めているところです。</p>
13	<p>＜学校再編の目的と統合に伴う負担＞</p> <p>当初の計画について、一部の方々から反対があったとのことだが、河原子は少數であり数で言われたらどうにもならない。そもそも、何のための統合なのか。統合に伴い負担が出ることもきちんと説明するべきである。</p>	<p>＜再編計画の目的と統合に伴う負担＞</p> <p>学校再編計画の基本的な考え方ですが、学校の規模が小さくなると、児童生徒の人間関係の広がりや学習形態の多様さなどが制限され、本来それらを通して得られる社会性や、人格形成に必要な成長の機会を狭めてしまう懸念があります。また、一定の学校規模を確保することで教員の配置が充実し、多様な指導体制などが可能となり、児童生徒にとってより良い教育環境を整えることが可</p>

能になります。特に中学校においては、卒業後これまでとは大きく異なる環境の下で新たな人間関係を築いていくことになるため、より多くの人と関わることが重要であり、各学年の学級数が小学校よりも多い方が望ましいと考えております。

統合に伴う負担については、通学区域が広がることにより通学距離や時間が長くなるなど生徒の負担が増えることが挙げられます。また、地域から中学校が無くなることで、統合後の中学校と地域との関係を再構築する必要があります。

通学時の安全対策と負担軽減につきましては、今後設置する統合準備委員会において、保護者や地域の皆様と共に自転車通学などの具体的な協議を行ってまいります。地域とのつながりについては、統合後の新しい学校においても、地域住民の皆様が学校運営に関わることのできる学校運営協議会の仕組みを活用しますので、地域の皆様が、引き続き学校運営に参画していただき、ご意見を反映していくこととなります。

統合校がより広い地域の皆様に支えられ愛される学校となるよう、統合準備委員会において地域とのつながりについて協議を行いながら検討を進めてまいります。

14	<p>＜通学路の安全性と実態調査＞</p> <p>今の河原子学区の端から大久保中までの道のりを子どもたちの荷物を背負って朝と夕方、季節も全て確認した上で提案なのか。学区外に進学すればバスの利用もできるかもしれないが、統合すると学区内になってしまう。地図上では比較的近いかもしれないが、通学路が良いとは思えない。不安である。現状の学区と比べて、河原子から大久保中への通学は長距離移動後に国道を横断することになる。暑い時期や寒い時期に重い荷物を持ち、注意がそがれてしまう可能性があると思うが、この点を検討した上で提案なのか。</p>	<p>＜通学路の安全性と実態調査＞</p> <p>通学路につきましては、地図上の距離だけでなく、実際に生徒が通学する際の安全性、季節ごとの変化など、実態に即した検証が必要であることから、生徒の皆様が安心して通学できるよう、統合準備委員会に設ける通学部会において検討を進めてまいります。</p> <p>学校再編計画では、統合に伴い通学距離が一定以上に延伸し、徒歩や自転車による通学が困難になった場合や、通学上の安全確保に必要が生じた場合は、学校、保護者、地域、路線バス事業者を含めた関係機関等との協議の上、公共交通機関の活用策を検討することとなっていきます。</p>
15	<p>＜抜本的な解決策＞</p> <p>日立市を北部・中部・南部それぞれ数か所に学校を集約し、スクールバスを導入するぐらいのことができれば大きな改革になるのではないかと思う。</p>	<p>＜抜本的な解決策＞</p> <p>学校再編計画は、長期的な視点に立つものであると同時に、児童生徒数の推移などを踏まえ見直すことが当初から定められておりますので、学校再編計画改定検討委員会を設置し検討を進めているところです。</p> <p>学校再編の将来を長期的な視点で見据えた、スクールバスの導入につきましては、後期計画の策定の際に参考とさせていただき、より広い視野で市全体の学校再編の検討を行ってまいりたいと考えております。</p>
16	<p>＜計画変更の経緯と意思決定プロセス＞</p> <p>一部の反対意見で当初の計画が変更されるのであれば、今回の案を反対する。</p>	<p>＜計画変更の経緯と意思決定プロセス＞</p> <p>学校再編計画は、当初決定した内容を必ず進めていくというものではなく、定期的に見直しを行うこととしています。</p>

		<p>学校の規模が小さくなると、児童生徒の人間関係の広がりや学習形態の多様さなどが制限され、本来それらを通して得られる社会性や、人格形成に必要な成長の機会を狭めてしまうことが懸念されます。</p> <p>子どもたちの教育環境や主要教科に複数の教員が配置できるような学校規模の観点から検討を進めており、特定の意見のみを配慮して検討しているものではないことをご理解願います。</p>
17	<p>＜通学路の安全対策＞</p> <p>計画の見直しを進めるのであれば、歩道や通学路を完全に整備してからにしてほしい。</p>	<p>＜通学路の安全対策＞</p> <p>通学路の安全対策につきましては大切なことでありますので、生徒が安心して通学できるよう統合準備委員会に設ける通学部会において検討を進めてまいります。</p> <p>全ての通学路を事前に完全に整備することが理想ではありますが、歩道の設置や道路の拡幅には、用地取得など完成までに長い期間を要する場合も少なくありません。そのため、学校再編による教育環境の改善という目的が、長期間にわたって停滞してしまうことが懸念されますので、ご理解いただけますようお願いいたします。</p>
18	<p>＜統合に伴う経済的負担に対する補助＞</p> <p>統合に伴い制服等が新しくなった場合、何らかの補助制度は存在するのか。</p>	<p>＜統合に伴う経済的負担に対する補助＞</p> <p>統合後の学校指定の被服（制服、体操服等）について、一方の学校の生徒が被服を買い替える必要がある場合は、支援の方法等を統合準備委員会において検討し、補助を実施しています。</p> <p>なお、統合に伴い被服が新しくなる場</p>

		合は、在籍途中で統合となる生徒については、統合前の被服を使用して良い運用をするなど、保護者の方の経済的負担にならないよう配慮します。
19	<p>＜部活動の事前交流＞</p> <p>現在、河原子中の部活動では泉丘中と合同チームを組んでいるものもあるが、大久保中との統合が決定となった場合は、早期に大久保中との合同活動を開始する方が生徒たちの友人関係構築においても効果的である。そのような交流を早期に実施することは可能であるか。</p>	<p>＜部活動の事前交流＞</p> <p>今回の計画改定（案）が決定した場合は、段階的に大久保中学校との合同活動を進め、統合前から生徒同士の交流を深めながら、友人関係の構築に努めてまいります。部活動の地域展開の動向も加味しながら、統合準備委員会において協議してまいります。</p>
20	<p>＜統合までの移行期間における不安軽減策＞</p> <p>坂本中や平沢中が閉校する際、統合前年度の生徒数は数名だったと聞いている。小規模校の河原子中から大規模校の大久保中への移行に伴う不安解消策や受験年に当たる中学3年生の環境変化への配慮が必要である。段階的な交流促進なども含めた配慮を望む。</p>	<p>＜統合までの移行期間における不安軽減策＞</p> <p>今回の計画改定（案）が決定した場合は、統合までの移行期間において、河原子中学校と大久保中学校の合同行事の実施や合同学習の機会の創出、統合時に中学3年生となる生徒への配慮などを進めてまいります。スクールカウンセラーや教育相談員による相談など、統合による不安の軽減に努め、新たな学校生活に向けて円滑に移行できるよう進めてまいります。</p>
21	<p>＜統合校の取組事例＞</p> <p>これまでの市内の統合校において、統合前の学校行事等をどのように進めたのか情報提供を望む。小中学校の統合は遅かれ早かれあることだと理解しているが、統合までの数年間をかけて丁寧な聴取を行い、課題を一つ一つ解決し閉校・開校を迎える。</p>	<p>＜統合校の取組事例＞</p> <p>【東小沢小学校・坂本小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童による合同授業を坂本小で実施しました。 ・4年生の合同校外学習をシビックセンターで実施しました。 <p>【平沢中学校・駒王中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平沢中の部活動（男子ソフトテニス

部)が駒王中で合同練習を実施しました。

【坂本中学校・久慈中学校】

- ・吹奏楽部(合同)が坂下地区文化芸能発表会に参加しました。
- ・坂本中の部活動(卓球部)が久慈中で合同練習を実施しました。

【松風中学校】

- ・統合に伴い、自転車で遠距離通学となる生徒の安全確保のため、年度始めに自転車の乗り方について安全指導を行いました。
- ・日立市通学路安全推進会議に向けて、学校とPTAで通学路を巡視し、危険箇所を追加しました。
- ・坂本中・久慈中の教員が話し合い、両校の授業の進め方などについて、共通理解を図りました。
- ・学年担当に坂本中から異動した教員を複数名配置し、子どもたちが松風中の学校生活にスムーズに慣れるよう配慮をしました。
- ・統合前から各教科教員等が集まり、授業の進め方や学習スタイルのすり合わせを行いました。

【駒王中学校】

- ・通学時の安全確保として、年度当初に学区内の通学路を念入りに調査、確認を行いました。
- ・平沢中から来た生徒が馴染めるよう、平沢中のマスコットキャラクターを駒王中に取り入れました。
- ・平沢中の生徒会長が駒王中の生徒会の役員になり、両校生徒の意向を反映

		<p>できる体制を整えました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員間で平沢中から来た生徒の様子を注視し、情報共有を行い生徒の支援に努めました。
22	<p><保護者の学校訪問時の駐車場></p> <p>面談や参観日等の際の駐車場確保が懸念される。</p>	<p><保護者の学校訪問時の駐車場></p> <p>駐車場の確保は、学校行事への参加しやすさに関わることから、統合準備委員会において、保護者の皆様のご意見を伺いながら、近隣の公共施設の駐車場を借用するなどの対応策を協議してまいります。</p>
23	<p><説明会の開催方法></p> <p>夕方開催では参加が難しい。オンライン開催を検討し子育て世代の参加・意見反映を促してほしい。</p>	<p><説明会の開催方法></p> <p>お仕事や子育てなどで、指定された時間・場所での参加が難しい方々をはじめ、より多くの皆様が参加しやすいよう、開催方法や日時などについて検討してまいります。</p>
24	<p><河原子小学校の施設></p> <p>河原子小学校の遊具などの老朽化が激しい。子どもたちには壊れていない設備や使用制限のない整った環境で学校生活を送らせたい。</p>	<p><河原子小学校の施設></p> <p>学校施設の維持管理は、再編計画の有無にかかわらず、そこに通う児童生徒の安全確保を最優先に実施するものです。河原子小学校校舎の施設の不具合につきましては、施設所管課と情報を共有し必要な整備を進めてまいります。</p>
25	<p><統合後の校舎></p> <p>河原子中学校は大久保中学校と統合になるということは、今の大久保中学校に通うことになるのか。</p>	<p><統合後の校舎></p> <p>今回の計画の改定検討方針(案)では、河原子中学校は大久保中学校と統合し、統合後の学校は、現在の大久保中学校の校舎を使用することを想定しています。</p>
26	<p><統合後の通学方法></p> <p>もし大久保中学校に通うことになれば、どのような通学方法になるのか。通学のバスなどはあるのか。</p>	<p><統合後の通学方法></p> <p>統合後の通学方法につきましては、現時点で決定しているものではありませんが、統合準備委員会の通学部会において、保護者の皆様のご意見を伺いなが</p>

		ら、通学距離や通学路の安全確保の観点から、徒歩や自転車による通学が困難である場合は、路線バスなどの公共交通機関による通学方法について協議してまいります。
27	<p>＜統合に伴う通学距離の延伸と熱中症対策＞</p> <p>河原子学区から大久保中学校まで比較的距離が近いとはいえ、場所によっては、通学距離が3km以上になる世帯もある。特に炎天下を歩くことをどう考えているのか。対策を示してほしい。</p>	<p>＜統合に伴う通学距離の延伸と熱中症対策＞</p> <p>統合準備委員会において、通学時の熱中症対策など、学校と連携した健康管理指導を検討してまいります。通学距離や通学路の安全確保の観点から、徒歩や自転車による通学が困難である場合は、路線バスなどの公共交通機関による通学方法について協議してまいります。</p>
28	<p>＜統合によるメリット＞</p> <p>統合によるメリットを感じない。</p>	<p>＜統合によるメリット＞</p> <p>学校の規模が小さくなると、児童生徒の人間関係の広がりや学習形態の多様さなどが制限され、本来それらを通して得られる社会性や、人格形成に必要な成長の機会を狭めてしまう懸念があります。</p> <p>社会性の育成としまして、多様な個性を持つ生徒との交流を通じて、社会性やコミュニケーション能力の向上が期待できます。</p> <p>一定の学校規模を確保することで教員の配置が充実し、多様な指導体制などが可能となり、児童生徒にとってより良い教育環境を整えることが可能になります。</p> <p>部活動の選択肢の拡大としまして、現在は人数不足で開設できていない部活動の実施が可能になります。</p>

29	<p>＜回答フォームへの氏名等の記入＞</p> <p>回答フォームへの氏名・住所等が必須項目なので意見が出しづらいと思う。</p>	<p>＜回答フォームへの氏名等の記入＞</p> <p>回答フォームを記名・住所を必須としているのは、いただいたご意見等について、必要に応じて個別の確認や回答などの対応を行う場合もあるためです。このため、記名でのご回答をお願いしていることをご理解願います。</p>
30	<p>＜計画改定の判断基準＞</p> <p>多くの反対意見や不安の声があっても計画が見直されないのであれば、どのような基準で案が改定されるのか。</p>	<p>＜計画改定の判断基準＞</p> <p>計画を改定する検討方針（案）は、子どもたちの教育環境の充実と安全確保を優先しつつ、保護者や地域の皆様の具体的なご意見を踏まえて、学識経験者・保護者・地域関係者・学校教育関係者等の代表で組織する学校再編計画改定委員会において、協議を行った上で改定します。</p> <p>学校再編計画は、当初決定した内容を必ず進めていくというものではなく、定期的に見直しを行いながら、子どもたちの学習環境や主要教科に複数の教員が配置できるような学校規模の観点から検討を進めています。</p> <p>保護者の皆様からいただいたご意見等は、関係する小中学校、PTA役員、地域コミュニティ等と情報共有を図っております。</p>

31	<p>＜通学の安全対策等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な通学の熟慮なしには大久保中までの通学は不安が大きく合併に賛成できない。 ・統合決定後の検討では重大事故や死亡事故の発生は免れない。 ・保護者による送迎ありきでの通学検討は両親の就業体制を変更させるものとなり経済的に生活が困難となるのでやめてほしい。 ・校長判断でなく日立市での自転車通学の可否はどう判断しているのか。 ・自転車通学可能時は車道内ではなく別で(河原子街道の桜伐採箇所等にでも)自転車専用道路を設置してほしい。 ・自転車やヘルメットの支給や助成を望む。 ・河原子街道から6号国道を渡ることを想定した場合に自動車の巻き込み確認不足で事故多発が心配であるため歩道橋の設置を希望する。 ・徒歩での通学は時間がかかりすぎてしまい、睡眠や家族の時間、余暇や勉学に不利益と考えるが、統合を検討した人は河原子から大久保中まで実際に歩いて自分ごとで考えてくれた人はいるのか。 	<p>＜通学の安全対策等＞</p> <p>通学の安全確保について、保護者による送迎ではなく、生徒の皆さんのが自力で安全に通学できる環境整備を基本として検討を進めていきたいと考えています。</p> <p>日立市において、自転車通学の許可を出している学校(十王中、豊浦中、松風中)では、通学距離が概ね2km以上の場合、安全を確認の上、中学校の校長が出すこととなっていますが、統合に伴い、通学距離や時間が長くなる場合は、統合準備委員会での協議を踏まえ、自転車通学も選択できるように進めてまいります。</p> <p>自転車専用道路の設置については、安全な通学路確保という観点から、市の担当課と連携を図りながら協議してまいります。</p> <p>現在、自転車通学を認められた新中学1年生を対象に、自転車通学用ヘルメットの購入費用を補助していますが、自転車の購入補助については、統合準備委員会において協議します。</p> <p>河原子街道(県道日立笠間線)から国道6号を渡る際の安全対策については、統合準備委員会の通学部会や、日立市通学路安全推進会議などにおいて、具体的な協議を行ってまいります。</p> <p>【他自治体の事例】</p> <p>国道と県道の交差点において、左折する車への注意喚起のための看板設置を警察に要望し設置した。</p>
----	--	--

		<p>【学校再編課職員による現地確認】</p> <p>今年の10月と11月に学校再編課の職員が河原子町と大久保中学校間を徒歩や車で往復し、登校時間の交通量の把握等に努めています。</p>
32	<p>< B R T を活用した多賀中学校との統合案></p> <p>今後の計画で大久保中学校と多賀中学校が統合するのであれば、B R T 第3期整備計画の完了を待ってから河原子中学校も多賀中学校と統合したらどうか。</p>	<p>< B R T を活用した多賀中学校との統合案></p> <p>大久保中学校と多賀中学校との統合については、後期計画で検討していくこととなっています。今回、前期計画の見直しを進めていく中で、河原子中学校と大久保中学校が統合することになった場合は、その点を踏まえ、大久保中学校と多賀中学校との統合について、後期計画で改めて見直す必要があると考えています。</p>
33	<p><河原子小学校の校舎活用></p> <p>河原子中学校のプレハブ耐用年数が超過しているのであれば、新校舎を設置するより安価な小学校の空き教室をリノベーションして利用したらどうだろうか。河原子に中学校がないことで若い子育て世帯に選ばれない町となり空き家の急増や高齢世帯の急増に歯止めが効かなくなると懸念してしまう。</p>	<p><河原子小学校の校舎活用></p> <p>河原子小学校の空き教室の活用については、施設の構造上の問題や必要な改修費用などを踏まえますと、中学校として必要な専用教室（理科室、技術室等）の確保が困難である点や、改修費用が大きくなるため、小学校の空き教室をリノベーションして対応することは課題を整理した上で検討しなければならないと考えております。</p>

34	<p>＜小規模校の教育的価値＞</p> <p>再編計画の基本的な考えに、学校の規模が小さくなると人間関係の広がり、学習形態の多様さ、課外活動などが制限され、本来それらを通して得られる社会性や人格形成に必要な成長の機会を狭めてしまうことが懸念されるとあるが、人數が少ないからこそ小規模校の良さを生かした、地域に根差し、きめ細かく目が行き届く教育活動が図れるのではないか。どうか。</p>	<p>＜小規模校の教育的価値＞</p> <p>小規模校には、きめ細かな指導が可能であり、地域との結びつきが強いなど、確かに多くの利点があることを認識しています。一方で、中学校段階では、多様な考え方に対する機会の確保や、教科担当教員の専門性の充実など、ある程度の規模が望ましい面もあります。特に中学校においては、卒業後これまでとは大きく異なる環境の下で新たな人間関係を築いていくことになるため、より多くの人と関わることが重要であり、各学年の学級数が小学校よりも多い方が望ましいと考えています。</p>
35	<p>＜統合校の設置場所＞</p> <p>当初計画（大沼小跡地利用）が実現困難なら、河原子地区と大久保中地区の中心地に新たな統合校を設置することを提案する。これにより対等統合の意味合いを持たせることができ、常陸多賀駅周辺整備事業と連携した計画となる。将来予定されている大久保中学校と多賀中学校の統合予算を前倒しで活用することはできないか。</p> <p>子どもの通学校を考慮して住居を購入した家庭もある。常陸多賀駅が整備されても、学校がなくなれば住民が減少する可能性もあり、河原子地区の将来的な発展も考慮した検討を要望する。</p>	<p>＜統合校の設置場所＞</p> <p>大久保中学校と多賀中学校の統合については、後期計画で検討することとなっており、将来の統合に向けて現時点で活用できる財源は確保されていない状況です。また、常陸多賀駅周辺は、学校に必要な広さの用地が確保されていないことから、河原子地区と大久保中地区の中心地に新たな統合校を設置することについては、課題を整理した上で検討しなければならないと考えております。</p>

以上